

ミッドセンチュリーと北欧とエスニックを
混在させたマイスタイルでスケルトンな
室内を脱力感のある雰囲気



Mix Style



1. 長い時間を過ごすLDKは、素材にもデザインにもこだわっています。とくに熟考したのが床の風合い。ニスと塗料を何回も塗り重ねて、独特の艶のある古材風の仕上がりにし、ユーズド家具とじっくりなじませています。2. フィンランドのイルマリ・タピオヴァラがデザインしたテーブル&イスがダイニングの主役。イスは1脚だけアアルトのものを混ぜています。3. 強度があり加工のしやすいフレキシブル板という内装材を、玄関へ続く廊下とキッチンに使用。ランダムに切れ込みを入れたデザインに独特の個性が生まれています。

インテリアもファッションも、とくにこれ、というスタイルを決めず、少しずついろいろなものをミックスするのが心地いいという浅田さん。もともとはミッドセンチュリーが好きで、アンティークショップなどを巡っているうちに興味の幅が広がり、フランスや北欧のユーズド家具、トルコのオールドキリムなど、国もテイストもばらばらなアイテムが集まってきたとか。それらに共通する

のは、どこか癒される雰囲気があることだといいます。そんな家具のムードに合わせた住まいにするために、マンションをスケルトンリフォーム。たとえば床はわざとキズをつけた幅広な古材風のフローリングに交換し、アルミの窓枠をマットな黒にペイントするなど、気取らずにくつろげるミックススタイルをつくり出しています（浅田さん・東京都。設計/utide）

What's Mix Style? ミックススタイルとは

インテリアのコーディネートは、ひとつのスタイルで統一するのが基本ですが、ミックススタイルはその名の通り、いくつかのスタイルを融合させる方法。ひとつに限定するより難易度が高いのですが、うまく組み合わせられると、洗練された上級な空間の演出につながります。



浅田さんの
スタイルづくりのセオリーは？

大型収納にテレビも生活用品も



引き戸を閉めれば壁のようになる大型収納棚に、イメージに合わないテレビや生活雑貨をすべて隠してすっきりとしたイメージに。

衣類は見える
しまいがいい



洋服はたたんで出しておく、特注したパイプハンガーにアイテム別にかけるなど、ショップディスプレイのような見せる収納に。

コーナーのスタイリングを充実



ユーズドのデスクとペンダント、ガラスを並べた棚、古道具の黒板など、絵になるアイテムを組み合わせ、見せ場をつくって。



4



5



4. ヨーロッパ各国のアンティーク家具をミックスしたリビング。キリムは、テイストの異なるアイテムの橋渡しに最適。イーゼルチェアの背にはエスニックなショールをあしらひ、さりげなくファッショントレンドを盛り込んで。5. 寝室にはさわやかな色使いを取り入れて、癒し感のあるやさしい雰囲気としています。マットなシルバー色のミラー、白くペイントされたディスプレイキャビネットなど味わいのあるユーズド家具を集めて。6. ひと部屋を洋服収納に利用。コンクリートむき出しにしてパイプハンガーを置いただけというラフな仕上げが、商品が並んだショップのようなクールな雰囲気。



6